

「台風の進路予測技術の高度化に関する国際会議」の開催について

気象庁は、平成 21 年 11 月 30 日（月）～12 月 2 日（水）に、「台風の進路予測技術の高度化に関する国際会議」を開催します。

本会議の一環として、11 月 30 日（月）午前には、国内外の第一線の専門家が台風の進路予測技術の最前線をわかりやすく解説します。（通訳付）

本会議は、海洋政策研究財団の平成 21 年度海外交流基金により実施します。

台風は日本を含む東アジアの社会・経済に多大な影響を与えており、海上交通等においても大きなリスクとなっています。そのため、台風の予測の改善は極めて重要であり、とりわけ近年では、進路予測についての新たな研究が取り組まれています。

世界気象機関（WMO）が進める「観測システム研究・予測可能性実験（THORPEX）」の一環として、気象庁は昨年夏、米国、韓国などと連携して台風特別観測実験（T-PARC2008）を実施しました。これらの成果を含めた台風の進路予測技術に関する国内外の最新の知見を集約することにより、台風の進路予測技術の高度化に関する研究開発を国際的に推進するため、海洋政策研究財団の海外交流基金による国際交流事業として、国内外の著名な専門家を招待し、11 月 30 日（月）～12 月 2 日（水）にかけて「台風の進路予測技術の高度化に関する国際会議」を開催します。

この会議の冒頭では、台風予測技術の現状と今後の展望を広く一般の方にも知っていただけるよう、国内外の第一線の専門家による基調講演を一般公開します。（通訳付）

概要（詳細別紙）

場 所：日本財団ビル 2 階（東京都港区赤坂 1－2－2）

日 程：平成 21 年 11 月 30 日（月）～12 月 2 日（水）

【基調講演】 11 月 30 日（月）09:30～12:30（開始 30 分前より受付）

【専門家会合】 11 月 30 日（月）13:30～12 月 2 日（水）

参加方法：当日会場にて受付（先着順・事前登録不要）

参 加 費：無料

問い合わせ先：

気象庁気象研究所企画室
電話 029-853-8536

(別紙)

台風の進路予測技術の高度化に関する国際会議

会 場： 日本財団ビル 2 階（東京都港区赤坂 1－2－2）

日 程： 平成 21 年 11 月 30 日（月）～12 月 2 日（水）

プログラム：

基調講演 11 月 30 日（月）午前（同時通訳あり）

09:00 開場・受付

09:30 開会のあいさつ（気象庁長官 櫻井 邦雄）

09:40-10:20 台風予報の現状と課題
（気象庁予報部太平洋台風センター 佐々木 喜一 所長）

10:20-11:00 世界中の熱帯低気圧の予報精度
（ヨーロッパ中期予報センター *Martin Miller* 博士）

11:00-11:40 観測のツボの効用－2008 年台風特別観測から－
（気象庁気象研究所台風研究部 中澤 哲夫 博士）

11:40-12:20 今後の世界気象機関の研究計画
（世界気象機関 *David Parsons* 博士）

12:20 閉会のあいさつ（気象庁気象研究所長 佐藤 信夫）

専門家会合 11 月 30 日（月）午後 ～ 12 月 2 日（水）（英語のみ、傍聴可）

セッション 1：台風の進路予測の現状

セッション 2：2008 年台風特別観測結果

セッション 3：今後の研究の発展方向

参加方法： 当日会場にて受付（先着順・事前登録不要）

参 加 費： 無料

お問い合わせ先： 気象庁気象研究所企画室 電話 029-853-8536